

〔令和 7 年度〕

居宅介護支援

評価結果根拠シート(評価機関作成用)

6. サービス項目分析版

令和	年	月	日
施設・事業所名			
評価機関名			
評価者名			

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行
3.経営における社会的責任
4.リスクマネジメント
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.事業所の重要課題に対する組織的な活動

網掛け部がサービス分析シートに該当します

- この評価結果根拠シートは、評価機関が作成した評価結果の根拠を示したシートです。このシートは、本来事業者が自己評価に使用する「経営層合議用自己評価シート」を活用して作成しています。そのため、調査票の中で使用している文言は、事業者自己評価用として設定しておりますので、「私たちの実践例」の文言は「確認した実践例」と読み替えたうえ、内容をご確認ください。

2

〔ねらい〕 ・サービス開始時に行うサービス内容等の説明を利用者の状況に応じて実施しているか
・十分な説明をしたうえで、利用者等の意向を確認し、納得を得ているか

標準項目		チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している	☐		
2	サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている	☐		
3	サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している	☐		

【ねらい】

- ・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか
- ・利用者がサービスを終了する場合、利用者の不安を軽減するための取り組みをしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者が居宅介護支援事業所の変更を希望する場合、継続的にサービスが提供されるよう対応している	☐		
2	利用者が他のサービスに移行する場合、新たな事業所の関係者等と連携して支援体制を整えている	☐		
3	サービス終了後も必要に応じて、利用者や家族等からの相談に応じている	☐		

サブカテゴリ-2 サービスの開始・終了時の対応 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目 6-3-1

利用者の要望や状況に応じて、要介護認定等に係る申請の代行・支援等を行っている

- 〔ねらい〕 ・要介護認定に対して、どのような取り組みをしているか
・介護保険外の申請について、どのように支援を行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者(家族)から要介護認定等の申請の代行業を依頼された場合には、協力している	☐		
2	利用者の状態が変化して要介護度が変わったと思われる場合には、要介護状態区分変更の申請のための支援や助言を行っている	☐		
3	介護保険外の申請書類の作成(減額申請等)について、支援や助言を行っている	☐		

評価項目 6-3-2

利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している

- 〔ねらい〕 ・利用者に関わる情報を職員間でどのように共有化しているか
・日常の変化等をどのような方策で共有化しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	☐		
2	利用者に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	☐		

評価項目 6-3-3

利用者が居宅で日常生活を営むことが困難になった場合には、サービス提供事業者や医療機関の意見を参考に対応する体制を整えている

- 〔ねらい〕 ・職員は、利用者の状況の変化等をどのように把握しているか
・利用者への情報提供はどのように行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	サービス提供事業者や医療機関と連携をとりながら利用者の状況を把握している	☐		
2	利用者が介護保険施設等や医療機関等への入所・入院を希望する場合には、情報提供等の便宜を図っている	☐		
3	利用者が介護保険施設等や医療機関等への入所・入院を希望する場合には、主治医と連携をもって対応している	☐		

評価項目 6-3-4

介護保険施設や医療機関等を退所・退院する利用者が居宅における生活に円滑に移行できるよう支援している

- 〔ねらい〕 ・在宅生活に必要な情報を収集する体制があるか
・利用者の在宅復帰に関して、介護保険施設や医療機関とどのような連携をしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者が介護保険施設や医療機関等を退所・退院する際には、事前にカンファレンスを行うなど必要な情報を入手する体制を整えている	☐		
2	居宅での生活における留意点等の情報を介護保険施設等から聴取し、状態を把握することで居宅サービス計画に役立っている	☐		

サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目 6-4-1

利用者の個別の情報や要望を把握している

- [ねらい] ・利用者や家族の意向・希望を尊重しているか
・アセスメントの内容が記録され共有化されているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している	☐		
2	利用者の個別事情や要望の把握をし、記録している	☐		
3	利用者および家族から聞き取る以外に観察などで状況を確認し、情報の把握に役立てている	☐		
4	利用者の要望以外に、把握した状況を分析し生活課題を抽出している	☐		
5	アセスメント時に利用者が望む生活像の把握をしている	☐		

評価項目 6-4-1 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-2

一人ひとりの居宅サービス計画は、利用者本人や家族の希望と関係者の意見を取り入れて作成している

- [ねらい] ・サブカテゴリー3で策定した計画に、利用者及び家族等の意向を反映しているか
・居宅サービス計画の内容をどのようにわかりやすく説明をして同意を得ているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所として居宅サービス計画作成にあたっての基本的考え方や方法を明確にしている(個性の尊重・自立支援の視点等)	☐		
2	介護保険サービス及び介護保険外サービスに関する情報を収集し、利用者のニーズに応じて提供している	☐		
3	居宅サービス計画は利用者の望む生活像をもとに、利用者の状況や要望などを取り入れて作成している	☐		
4	利用者と家族の意向が異なる場合には、話し合いを行うなど、調整を図っている	☐		
5	利用者の要望と専門的視点からみたニーズが一致しない場合、可能な限り利用者に説明し同意を得るようにしている	☐		
6	作成した居宅サービス計画の内容(サービスの種類、回数、利用者負担金額等)について説明し、同意を得ている	☐		

評価項目 6-4-2 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-3

利用者の状態を分析し、サービス担当者会議によって効果的な居宅サービス計画となるように調整している

- [ねらい] ・アセスメントの情報が関係者と共有され、居宅サービス計画を立案・調整しているか
・居宅サービス計画は、自治体や地域包括支援センター等と連携のうえ、調整されているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	家族やサービス提供事業者等関係者とアセスメント内容を共有している	☐		
2	介護支援専門員が作成した居宅サービス計画のサービス内容について、家族やサービス提供事業者等関係者から意見を収集し、必要に応じて見直しをしている	☐		
3	サービス担当者会議の内容を記録している	☐		
4	必要に応じて、自治体や地域包括支援センター等と連携を図っている	☐		

評価項目 6-4-3 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-4

居宅サービス計画に基づいて提供されるサービスの開始当初に、サービス提供の状況を確認している

- [ねらい] ・居宅サービス計画が適切であるかどうかを確認しているか
・利用者、家族とサービス提供事業者の関係調整が必要な場合、どのように対応しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	提供されているサービス内容が居宅サービス計画の援助目標に沿ったものであるか確認をしている	☐		
2	サービスの提供によって生じる利用者の状態や環境等の変化を確認している	☐		
3	提供しているサービスに過不足がないかの確認をし、必要に応じて調整している	☐		
4	居宅介護支援の経過を記録し、把握している	☐		
5	利用者、家族とサービス提供事業者の関係が良好であるか確認をしている	☐		

評価項目 6-4-4 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-5

利用者の状態や環境の変化を継続的に把握し、必要に応じて居宅サービス計画の見直し・変更を行っている

- [ねらい] ・利用者の継続的なモニタリングを行っているか
 ・利用者の状況の変化に応じた居宅サービス計画の見直しをどのように行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	居宅サービス計画における援助目標の達成度を定期的に把握し、記録している	☐		
2	利用者の状況や要望等の変化を定期的に把握している	☐		
3	援助目標の達成状況や利用者の状態変化等必要に応じて再アセスメントを行っている	☐		
4	利用者の状態や要望の変化に対応し居宅サービス計画の見直し・変更をしている	☐		

評価項目 6-4-5 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 6-5-1

利用者のプライバシー保護を徹底している

- [ねらい] ・日常の支援の中で、利用者のプライバシーに対する配慮を徹底しているか
 ・利用者のプライバシーへの配慮が職員個人の判断によるものになっていないか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者に関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、利用者の同意を得ようとしている	☐		
2	日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮している	☐		
3	利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている	☐		

評価項目 6-5-2

サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している

- [ねらい] ・サービス提供の中で、利用者の権利を擁護し、意思を尊重しているか
 ・利用者の価値観等を考慮し、その人らしい生活を尊重しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)	☐		
2	利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	☐		

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

〔ねらい〕 ・業務の一定水準を確保するための手引書等を整備し、その内容に沿ったサービスを実施しているか
・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	☐		
2	提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	☐		
3	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	☐		

〔ねらい〕 ・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか
・よりよいサービスをめざし、職員や利用者等の意見を反映して見直しを行っているか

標準項目		チェック☑	私たちの実践例	その実践の記録等
1	提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	☐		
2	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている	☐		

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。